

みんなが支え、子どもがたくましく育つまちづくり

●子育て支援（継続的な充実した支援）について

万葉すくすく子育てサポート事業は、出生から18歳までの子どもの医療費完全無料化を継続し、安心して子育てができる環境づくりの充実に引き続き取り組んでまいります。

昨年10月から始まった幼児教育・保育の無償化においては、これまで保育料に含まれていた給食費が無償化とならないことから、保護者の利用負担軽減の措置を講じ、引き続き子育てを支援してまいります。児童館は職員7名のうち有資格者が5名おり、児童の健全育成に万全の態勢で臨んでおります。今後も種々の自主事業の実施や職員の資質向上を図りながら、遊びを通して児童の健康増進と豊かな情操を育むよう努めてまいります。

みんなが健康で元気なまちづくり

●福祉（みんなで支え合う福祉）について

高齢者福祉につきましては、今後より一層高齢化が進展していく中で、高齢者等の社会参加の促進と、元気で生きがいのある生活を送ることができるよう、移動手段の確保が困難な高齢者や障害者等を対象とした「高齢者等タクシー利用助成事業」を、引き続き実施してまいります。

また、定年退職者などの高齢者のライフスタイルに合わせた知識や技能が生かせるシルバー人材センターの開設を検討してまいります。

障害者福祉につきましては、村内にある障害福祉事業所「わ・は・わ大衡」と、「大衡村社会福祉協議会」との連携を密にしながら、ニーズに応じたサービスの提供を行い、村独自事業の「利用者負担額助成事業」や「障害児子育て支援事業」を継続するとともに、地域



▲いつまでも元気で生きがいのある生活を(いきいきサロン)

●高度情報化（高度な情報技術による環境づくり）について

本村の公式ホームページを効果的に活用し、各種行政サービスに関する情報提供を進めるとともに、適時・的確な情報発信に努めてまいります。

なお、より多くの皆様に関覧していただけるよう、令和2年度において村公式ホームページのリニューアルを予定しております。また、SNSを活用した行政サービスに関する情報発信を検討してまいります。

●行政運営（持続的な行政運営）について

本村の行政は、令和2年4月からスタートする「第六次大衡村総合計画」の基本構想・基本計画、毎年度の実施計画により諸事業を進めることとしており、年度ごとに進捗管理を行うとともに、村民の皆様と力を合わせながら、計画に即した目的達成に努めてまいります。

●財政運営（健全な財政運営）について

住民自治を支える根幹である税収を確保するため、令和2年度税制改正大綱の趣旨に基づき、各税目の課税客体的確な把握に努めるとともに、納税者の立場に立ち「公平・透明・納得」のもとに、適切に業務を執行してまいります。

●広域行政（連携した広域行政）について

本村単独で進めるより、広域で進めた方が、より経済的・効果的に推進できる事案などにつきましては、「黒川圏広域行政推進協議会」や「仙台都市圏広域行政推進協議会」などにおいて検討しながら、広域行政事業を推進してまいります。

施政方針（教育部門）

●学校教育（たくましく豊かな人づくり）について

小学校におきましては、基本的な生活習慣を確実に身に付けさせるとともに、異年齢集団活動や読書タイム、食育の授業等を通して心を育む教育活動の充実に取り組んでまいります。中学校におきましては、「確かな学力」の向上に向けて、生徒の学習意欲向上のための授業づくりや家庭学習の充実等に取り組んでまいります。

活動支援センターの充実を図り、地域活動の促進に取り組んでまいります。

また、障害のある方を抱える家族の緊急時に備え、3月6日、24時間の受入れ体制の整備を行う「地域生活支援拠点等整備事業」が、社会福祉法人みんなの輪「るーぶ大衡」を拠点として、昨年4月から運営が開始されておりますので、今後も事業実施者と連携を図ります。

●医療（健康な生涯を支える医療）について

特定健康診査につきましては、受診率の向上に努めるとともに、県内上位に位置する肥満者やメタボリックシンドローム該当者割合の改善を図るため、「健診結果説明会」や「健康づくり大作戦」の開催を継続し、積極的な疾病予防・健康増進に取り組めるよう支援してまいります。

がん対策につきましては、検診における自己負担額の軽減を継続し、50歳以上の胃がん検診においては、X線バリウム検査に加え内視鏡検査を導入した選択制とし、乳がん検診においては、昨年よりマンモグラフィ検査が実施できる医療機関を増やしており、検診がより効果的になるように、関係機関との連携を強化します。

なお、がん治療からの社会復帰を支援する、医療用ウィッグ等への助成事業を継続するとともに、高額な医療費がかかる特定不妊治療に対する助成も引き続き実施してまいります。

感染症予防対策につきましては、大衡村新型コロナウイルス等行動計画に則り、新型コロナウイルス等が流行した場合には、感染拡大の防止対策に万全を期すとともに、村民の皆様への備えにつきましては随時啓発してまいります。

みんなが集い、つながるまちづくり

●まちづくり（協働によるまちづくり）について

「開かれた行政」の体制として、情報公開を進めるとともに、村民の皆さんが自ら参画、行動できる地区活動を支援してまいります。

また、イベント等を実施する場合は、企画の段階から参画していただきながら、住民の皆さんとの協働活動を進めるとともに、村や地区及び諸団体等の動向を「広報おおひら」や「村ホームページ」において広く発信し、情報提供の充実と共有化に努めてまいります。

また、教育振興に関する施策の大綱に基づき、ICT教育の充実を図るため、高速大容量通信ネットワーク及び児童生徒一人一台の端末整備を進めることとなりましたので、教育的効果を考え、学校の意見を取り入れながら年次的に整備を図ってまいります。

学校給食センターにつきましては、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金を活用し、令和5年度開設に向け、給食センター建設に係る基本計画を策定予定としております。

●文化活動（一体となった歴史・文化の継承）について

芸術文化の振興につきましては、唯一の村指定無形民俗文化財「大瓜神楽」の保存・伝承活動に引き続き支援してまいります。

また、本村の創作舞踊である「万葉おどり」や、伝統芸能の創造をめざし取り組んでおります「大衡悠神太鼓」につきましても、引き続き育成と支援に努めてまいります。

●生涯学習（地域の人材を生かした生涯学習）について

生涯学習の推進につきましては、社会の変化や多様化する学習ニーズを的確に把握し、村民一人ひとりが生涯を通じて主体的に学ぶことができ、さらには、その成果を地域社会に還元できる生涯学習社会の実現を目指して、青少年教育をはじめ、成人教育、家庭教育、芸術文化などの多岐にわたる分野について、幅広い学習機会をきめ細かく提供してまいります。

●スポーツ・レクリエーション（みんなで親しめるスポーツ・レクリエーション）について

各種スポーツ大会の開催を通して、村民誰もがスポーツやレクリエーション活動に参加し、生涯にわたって充実したスポーツライフを送れるような環境づくりに努めてまいります。



▲無形指定文化財「大瓜神楽」